

分別ルールを守りましょう

問 住民環境課 環境対策係
☎476-1111 (127・128)

■ 生ゴミ専用回収容器に異物を混入させないでください！

生ゴミ専用回収容器に生ゴミ以外の異物が混入しているという苦情が寄せられています。収集場から回収された生ゴミは大崎有機工場に集められ、堆肥となって大崎町内の農地で使われています。しかし、土に還らない異物は堆肥として利用されることはありません。分別ルールを厳守し、生ゴミの再資源化にご協力ください。



異物とは??

⇒タバコ、ビニール製品、プラスチック類、陶器類、木、竹製品、金属類、ガラス類、動物の死体など

大崎町地域包括支援センターだより

問 大崎町地域包括支援センター
☎471-7828

当センターは、高齢者の暮らしについて様々な相談や要望に応える「よろず相談窓口」です。暮らしのコンシェルジュに、寄せられるご相談と対応を紹介します。今月は「**利用の勧め方**」について取り上げてみたいと思います。

- **相談内容**…父が家に閉じこもり、いつも横になっています。このままだと認知症や寝たきりになってしまうと思うので、外出してみんなと交流したほうがいい、デイなど利用してはどうかと勧めますが「行きたくない」といいます。どうしたらよいでしょうか。
- **対応策**…サービス利用を拒否する理由は何か探ることが必要です。

外出したくない、何もしたくないのはなぜでしょうか、その理由を本人に聞いてみましょう。その理由をしっかりと聞いた上で、今の生活をどう思っているのか、このままの生活を送り続けるとうなるか本人なりの考えを聞いてみましょう。

その際、本人の考えは否定しないでください。本人の考えを尊重したうえで、あなたの助けになりたい、健康でいてほしい、元気でいてほしい、そのために必要なサービスだと思うというメッセージをさりげなく継続的に伝えることが有効です。

ただし、会うたびに伝えるとお互いストレスですので、「**押しでもダメなら引いてみる**」というかたちで、利用の提案を止めてみるのも必要です。その人自身が今後の生活がどうなるか冷静に考えてもらう時間が必要な場合があります。

本人のタイミングを気長に待ち、見守っていくために家族等の身近な存在や、本人が信頼している人や、日頃よく関わっている人と連絡をとりあいましょう。

センターもその一員になり得ますので、ご一報ください。